

平成24年度

農業振興公社ニュース

第18号

1 平成24年度「みやざき農林水産業経営多角化チャレンジ塾」が閉講

(11月9日)

6次産業化に関する人材育成を目的としたチャレンジ塾を、「グローバル農業法人育成コース」(農林漁業者等を対象)に24名、「6次化推進プロデューサー育成コース」(6次化の支援者を対象)に22名の受講生を迎え、9月から10月に実施しました。講座を通じて塾生同士のネットワークも育まれ、閉講式でのビジネスプラン発表会では、塾生同士が連携した商品開発や取組の提案がなされるなど、



グローバル農業法人育成コースの受講生は各自のビジネスプランを発表

今後の6次産業化へ向けたそれぞれの展開が期待されます。

2 六次産業化法に基づく総合化事業を新たに3件認定

(11月13日)

この度、六次産業化法に基づく3件の総合化事業計画が国の認定を受けました。これにより本県は平成23年度からの累計で39件の計画が認定され、九州で1位、全国で6位(研究開発・成果利用事業計画を除く)の認定件数となり、ますますの6次産業化への推進が期待されます。

① 「嶺すぎもと農産」(小林市)

- ・対象農産物 米
- ・計画の概要 自家生産米を原料とした米糶を利用した「食べる生甘酒」「甘酒シャーベット」等の加工食品の開発・製造・販売

② 「森木清美」(川南町)

- ・対象農産物 肉用牛
- ・計画の概要 自家農場で肥

育した和牛肉(赤身)の販売と、加工食品の開発販売

③ 「嶺北きりしま名水の郷」(小林市)

- ・対象農産物 野菜・芋
- ・計画の概要 堆肥100%の野菜を使用した加工食品の開発と、委託製造に



嶺北きりしま名水の郷様



嶺すぎもと農産様と森木様

3 他産業からの農業参入

よる焼酎の販売

(1) 嶺コアファームが運営するイチゴ農園「レイクサイドレッドファーム」がオープン(宮崎市)

東証一部上場のIT企業「嶺コア」が、農業法人「嶺コアファーム」を設立し、宮崎市内のイチゴ生産者等と連携・協働して、イチゴの大型観光農園の展開や地域農産物を利用した加工品(ジャムやジェラート)開発等に取り組み、栽培技術のデータベース化やネット販売等、ITを生かした先端農業の実現を図ります。



イチゴハウス全景



イチゴハウス内部

① 農業生産法人の概要

- ・ 商号名： 株式会社 藤コアファーム
- ・ 所在地： 宮崎市清武町今泉
- ・ 設立： 平成24年2月

(栽培開始 同年9月)

- ・ 代表者： 農岡康雄
- ・ 資本金： 5千万円

- ② 事業概要
- ・ 作物名： イチゴの高設栽培
- ・ 面積： 40a

(2) 農と商工の連携事業体「みひむか野菜光房」が植物工場を展開(門川町)

門日向中島鉄工所(日向市)、日之出酸素㈱(延岡市)及び門川町の農業者の三者が共同出資により「みひむか野菜光房」を設立し太陽光利用型植物工場による野菜の生産に取り組み、農産物の安定供給を目指します。

① 農業生産法人の概要

- ・ 商号名： 株式会社 みひむか野菜光房
- ・ 所在地： 日向市日知屋
- ・ 設立： 平成24年6月

(栽培開始 同年11月)

- ・ 代表者： 島原俊英
- ・ 資本金： 2千万円

- ② 事業概要
- ・ 作物名： リーフレタス
- ・ 面積： 75a

- ③ 連携パートナーの概要・役割
- ・ 生産者

- ・ 氏名： 森 雅也

- ・ 概況： トマト養液栽培
- ・ 役割： 農業技術指導及び生産物の販売等

- 【商工業者】
- ・ 会社名： 門日向中島鉄工所
- ・ 業種名： 機械器具製造業
- ・ 役割： 経営ノウハウや植物工場に関する機械装置の改良等

- 【商工業者】
- ・ 会社名： 日之出酸素㈱
- ・ 業種名： ガス製造・販売業
- ・ 役割： 植物工場で利用する溶存酸素や二酸化炭素の制御等



ハウス内部

ハウス全景

【新農業支援課】

耕作放棄地の解消に向けた支援

耕作放棄地を解消する事業については、地域担い手協議会又は再生協議会に申請する「耕作放棄地再生利用緊急対策事業」があります。

本事業は、農地の再生整備はもろろんのこと、土壌改良や営農定着を補う基盤整備をはじめ農業機械、農業施設等に対する支援が受けられます。ただし、土壌改良と

併せた再生整備で10アール当たり10万円以上の事業費がかかる場合に支援が受けられます。

一方、公社が実施する「地域自主戦略交付金」を活用する「耕作放棄地再生支援事業」ではメニューは限られますが、事業費の上下限はありません。

また、本年度から鳥獣害防止柵等の設置は別途「鳥獣害対策緊急プロジェクト」で実施することになりました。

【農地課】

耕作放棄地の解消に向けた支援

耕作放棄地再生支援事業(農業振興公社)
(地域自主戦略交付金)

- 事業内容
- ①障害物の除去、深耕、整地、伐採、②土壌改良、③農業用排水路、④農道、⑤暗渠排水、⑥客土

- 補助率 1/2 (国)
- ※事業費の上下限の制限なし

連携

地耕作放棄地再生利用緊急対策(地域協議会)

- 事業メニューの施設補完事業のうち
- ①農業機械
- ②農業用施設(ハウス、果樹棚、防風・防霜施設等)
- ③乾燥調製施設・集出荷貯蔵施設 を活用

- 補助率 1/2 (国)
- ※本事業を活用できるのは、土壌改良を含む再生作業に要する事業費が10万円/10a以上になる場合

連携

鳥獣害対策緊急プロジェクト
(農業支援課)

※取組者は、6年間以上の耕作をする必要がある。
※支援対象農地は、農業委員会が実施する耕作放棄地全体調査で位置づけられる農用地区域内の活用すべき農地(緑・黄)

新規就農事例コーナー

ハウスへベオ栽培5年目
黒木 浩史さん(日向市)



- 主な活用事業
- 【研修時(実践塾)】
- ・基金事業(ニユー就農奨学基金事業)
- ・基金事業(農地利用促進事業、新規就農者定着支援リース事業)
- ・アグリファミリア設置事業
- 【就農後】
- ・基金事業(農地利用促進事業、新規就農者定着支援リース事業)
- ・アグリファミリア設置事業



黒木さんは、学校を卒業して直ぐに関西のソフトウエア関連会社に勤めました。実家は非農家ですが、兄や親戚(施設野菜栽培)の影響を受けて、若い頃から抱いていた農業経営への「夢の実現」に向けて走り出しました。

平成19年の春には17年間勤めた会社を退職し、この年の7月には「みやざき農業実践塾」で農業経営の基礎から応用技術の修得に努めました。実践塾で勉強する傍ら、普及センターとJA日向の勧めで16aのハウスを借り、へべすの育苗に取りかかりました。

へべすのような永年作物は、栽培を始めた数年間は現金収入がなかったため、黒木さんは、将来の投資に備えて会社勤めの時代にコツコツと蓄えをしておりました。

平成22年に「みやざきフロンティア農地再生事業」などを活用して、38aのへべす栽培に取り組み今年の夏、少量ながらへべすの出荷ができました。

黒木さんの住む、日向市日地屋からへべす園のある東郷町山陰までの道のりは片道20kmもあり、正に「通勤」の感じですが、先輩農家の方々から励まされながら日々頑張っています。

黒木さんの弁「新規就農を目指すなら、生半可な精神では挫折してしまうかもしれない。経営感覚を磨き投資や規模拡大は計画的に」。また、「宮崎のへべすの産地は日向・門川に特化しており、生産量が少なく知名度が向上しにくいのが、施設化による販売期間の

延長等で産地の強化につながるよう微力ながら頑張りたい。今年の冬からハウスの加温をします。」と意気込む。

近い将来は、へべすと施設園芸の複合経営を目指しており、目標の達成に向けて、これからの安定的な経営が大いに期待されます。

宮崎県新規就農・農業就職相談会



宮崎県新規就農相談センター(当公社・県農業会議・JA宮崎中央会)主催による相談会を、11月4日(日)に「ホテルプラザ宮崎」で開催しました。

相談会は県内で自営就農を希望する方や農業法人で働きたい方、他産業から農業に参入を希望する

法人等を対象に行うもので、幅広い相談内容に対応できるよう「就農・就職総合相談」、「研修・就業支援制度相談」、「農地・ハウス・機械相談」、「先進農家相談」、「会社就職説明」の5コーナーを設けました。この中に、支援対策として「青年就農給付金」や「えびの市」、研修に関する「みやざき農業実践塾」、「JA宮崎中央等26ブースを設置しました。就職については1日の農業法人や、「ハローワーク」にご参加いただきました。

当日は、ご家族での参加も多く72人の来場があり、各ブースで情報収集やアドバイスを聞かれました。中には、1日かけて各ブースを訪問される方もおられました。特に、青年就農給付金ブースについては、本年から新しく始まった事業ということもあり多数の訪問者がありました。

今年から来年に向けて、具体的に就農を考えている相談者については、相談会後も関係機関・団体や農業法人への再訪問等、今後に向けて動きが出ているところです。

【担い手支援課】

牛飼いに夢を懸けて



新牛舎での、今東 農さん

都城市高崎町の今東 農(みのる)さん(23)は、幼少の頃から祖父が飼っていた牛に興味を持ち、将来的には牛飼いを夢見て、それを実現したく、自らの意志で県立農業大学校で2年間、畜産について専門的な技術を習得されました。牛舎建設に活用できる補助事業はないかと関係機関・団体と協議した結果、当公社が実施している「畜産担い手育成総合整備事業」に取り組むこととなりました。

農さんは、町内の畜産農家など多くの人から牛飼いのについての情報を得ながら牛舎の設計協議を続け、ようやく建設予定地の取得にこぎつけ、平成24年3月に牛舎が完成しました。

新しい牛舎は、日当たりの良い

畑地に木造で50頭規模の繁殖牛房、子牛房及び堆肥舎・飼料庫が建設され、また、付帯施設として、口蹄疫を教訓に消毒設備も完備した施設となっています。



堆肥舎・飼料庫を併設した建屋

現在では、牛舎には、繁殖牛24頭、育成牛19頭、子牛18頭が飼育されており、計画頭数を目指し、牛の世話に精を出されている農さんの姿が頼もしく見えました。

10月に長崎県で開催された第10回全国和牛能力共進会において、一昨年の口蹄疫の発生により壊滅的な被害を受けた我が宮崎県は、他県を圧倒し前回に引き続き日本一という栄誉を達成しました。

今回の宮崎牛の知名度を生かし農さんには若さとパワーで、地域の畜産担い手として飛躍していただき、是非とも次回の共進会には宮崎県代表として出場できるように立派な牛を育てていただきたいと

考えております。

【事業の概要】

- 飼料畑造成 0.56ha
- 施設用地造成 0.39ha
- 施設整備
- 乳牛舎1棟 (792㎡)
- 堆肥舎・飼料庫1棟 (240㎡)
- 農機具機等一式
- 総事業費 46,456千円

【畜産施設課】



木造50頭規模繁殖牛舎

公益社団法人 発行
宮崎県農業振興公社
TEL (0985)51-2011
FAX (0985)51-8006
HP <http://www.mnk.or.jp/>

主な行事予定

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・1/17(木)~18(金) ・1/19(土) ・1/31(木) ・2/6(水) ・2/7(木) ・2/16(土) ・2/19(火) ・2/22(金) ・3/8(金) ・3/10(日) | <ul style="list-style-type: none"> 全国キャラバン食の発掘商談会in宮崎 新・農業人フェア 東京 第2回マーケティング支援セミナー みやざき農商工連携・6次産業化・食品産業求評会2013 第3回マーケティング支援セミナー 新・農業人フェア 大阪 みやざき食品産業マッチング交流会 第5回みやざきサポートセンター会議 農商工連携サミット 新規就農セミナー | <ul style="list-style-type: none"> シーガイアコンベンションセンター 東京都 宮崎市:KITEN 宮崎観光ホテル 宮崎市:KITEN 大阪府 ニューウェルシティ宮崎 宮崎市 宮崎市 宮崎県総合農業試験場 | <ul style="list-style-type: none"> 新農業支援課 担い手支援課 新農業支援課 新農業支援課 新農業支援課 担い手支援課 新農業支援課 新農業支援課 新農業支援課 担い手支援課 |
|---|---|--|--|